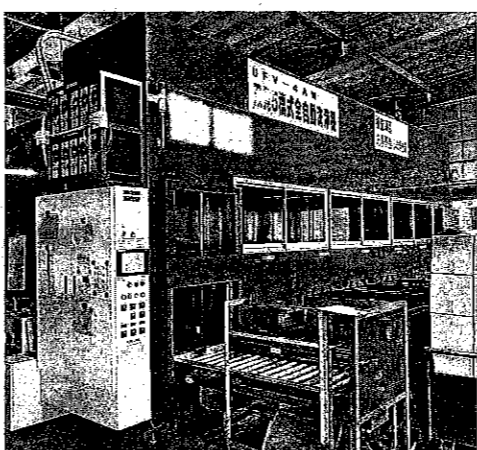


# 金属製品洗浄の本間産業 環境配慮にも応える 新工場棟を建設へ 3億円投資、設備を増強



本間産業の炭化水素洗浄機。環境汚染や人体への悪影響を抑える

本間産業は自動車部品、鉄造平屋建てで床面積約1300平方メートル。竣工後は、本社工場内で稼働している既存の有機溶剤系洗浄装置3台を移動させるほか、同じ洗浄装置を新たに1台導入する。近年は自動車部品メーカーなど顧客からの受注拡大を受けて処理能力を高め、環境に配慮する顧客の要望にも応える。

7月までに本社工場の横に新工場を建設する。有機溶剤系の洗浄装置は洗浄力の強さが特徴だ。油污れを落とすのに適した超音波方式を採用している。環境配慮にも「環境配慮型」の洗浄ニーズも高まっている。(本間尚貴 専務)という。

金属製品洗浄の本間産業(新潟県燕市)は7月までに、工場の洗浄設備を増強する。本社の工場棟の隣に新棟を建て、洗浄力が強い有機溶剤を使う装置と、環境負荷の少ない炭化水素系溶剤を使う装置をそれぞれ1台増設する。総投資額は約3億円。自動車部品メーカーなど顧客からの受注拡大を受けて処理能力を高め、環境に配慮する顧客の要望にも応える。

観音から使用を避ける傾向が強まっている。炭化水素系溶剤は有機溶剤に比べて処理能力が落ち、費用もかかるが、環境意識の高まりを背景に需要が伸びている。こちらの洗浄装置も増設することでコストの削減や環境への配慮といった多様な企業ニーズに対応する。

洗浄の仕上がりや証明書の取り組みも始める。本社工場内を改装し、製品の汚れ具合を調べる分析装置を導入する。製品に残った油分などを数値で示し、証明書として発行する。従来は洗浄後に

## 前橋に研修センター セキュリティ 模擬装置を設置

セコム上信越は前橋市にセキュリティ機器の実践的な使い方について学ぶ研修センターを設ける。前橋市の自社ビル内に、監視カメラシステムなどセキュリティ機器の模擬装置を設置。警備担当の社員やパートナー企業などが、実際に機器に触れて使い方を学べる。警備市場が拡大する

なか、実践に近い環境で訓練を積んだ社員の育成を急ぐ。

同社の前橋統轄支社が入る自社ビル内に、セコム上信越グループ技術センターを開業する。3月下旬の稼働をめざす。これまでグループ全体の研修や、会議室で設備を仮設した研修はあった。前橋ではより実践に近い

環境にする。

研修センターにはセコムのセキュリティ対応センターや監視カメラなど、セキュリティネットワークの模擬環境を用意。自動火災報知設備やスプリンクラーなど模擬設備もある。取り付け方法や、どのような状況で

研修の対象は警備を担当する社員や技術担当者、工事を行う子会社やコムテック上信越の社員など。技術の知識を備えるために、営業部門の研修も想定する。

国内の警備関連市場は年々拡大している。セキュリティ製品の提案力を高めるほか、設置工事技術の向上もめざす。

どのよう動作するかなどを実践に近い状態で確認できる。

研修の対象は警備を担当する社員や技術担当者、工事を行う子会社やコムテック上信越の社員など。技術の知識を備えるために、営業部門の研修も想定する。

国内の警備関連市場は年々拡大している。セキュリティ製品の提案力を高めるほか、設置工事技術の向上もめざす。

## 信越 ビジネス最前線

七味唐辛子の老舗、八幡屋磯五郎(長野市)がブランド強化に乗り出している。七味の素材を使ったスイーツや化粧品などで相次いで新製品を投入する一方、2018年には同社の象徴といえる「七味缶」をそのまま大きくした椅子を発売した。日本三大七味の1つに数えられる同社製品のブランド力をさらに高め、成長につなげる。

「うちの缶のデザインにはインパクトがある。そのデザインを前面に打ち出す一環として椅子を作った。交流サイト(SNS)上で映えるのももちろん、簡状なので椅子として座るのにもちょうどいい」。室賀豊社長は18年7月に売り出した



善光寺門前の本店前に置かれた椅子。八幡屋磯五郎(長野市)

「椅子缶」の狙いをこうを相次いで投入。七味の話。同社長が設計士と会社とは思えない横展開雑談している中で生まれだが、そこにもしつかりたアイデアだという。

17年には100年以上も使ってきた袋詰め七味の包装デザインを刷新し、新たに七味缶のイラストを採用した。「缶」を軸に自社ブランドの再構築を進めてきた。

素材にこだわった商品展開も重要なポイントだ。08年から手がけ、16年にはチョコレートにまじった七味缶のイラストを採用した。18年2月期は14億円。もう10億円をめざして事業計画を立ててきたが、16年には素材シリーズの「コンゲン スパイス」円を突破するなど業績は

## 七味「缶」軸にブランド力

「缶」のデザインにはインパクトがある。そのデザインを前面に打ち出す一環として椅子を作った。交流サイト(SNS)上で映えるのももちろん、簡状なので椅子として座るのにもちょうどいい」。室賀豊社長は18年7月に売り出した

## スイーツ・化粧品、相次ぎ投入

「缶」のデザインにはインパクトがある。そのデザインを前面に打ち出す一環として椅子を作った。交流サイト(SNS)上で映えるのももちろん、簡状なので椅子として座るのにもちょうどいい」。室賀豊社長は18年7月に売り出した

## QRコードで入場OK

チケット発券不要に

サッカーJ2のアルビレックス新潟は12日、チケットを発売せずにスマホを使ってスタジアムに入場ができる取り組みを2019シーズンから始めることを発表した。

インターネット経由で発行するQRコードを、専用端末に読み取らせるだけで入場できる。手数料がかからないほか、券の持ち運びや管理の手間が不要になる利点がある。

利用するには「Jリーグチケット」への会員登録が必要だ。専用ページで希望する席

のQRチケットを購入したうえで、本拠地のデンカビッグスワンスタジアム(新潟市)で専用の認証端末にスマホをかざして入場する。

サッカーのJリーグでは、チケットレス化の取り組みが多くなっている。アルビレックス新潟も顧客の利便性やデータ活用などの観点から新たに導入を決めた。従来、発券が不要なのは年間シートなど一部にとどまっていたが、一般入場券にも広がる。

## ヨーカドー丸大長岡店 31年の歴史に幕

JR長岡駅前の総合スーパー「イトーヨーカドー丸大長岡店」(新潟県長岡市)が11日、閉店した。郊外の大型商業施設などに客足を奪われ、売上が低迷していた。

11日午後8時すぎ、野田秀樹店長は「この場所を離れることは断腸の思いだが、いつの日かまた元気な姿を見たい」とあいさつ。買い物客が見守る中、シャッターが下ろされ、31年の歴史に幕を下ろした。

閉店セールに訪れた女性社員(38)は「駅前31年の歴史に幕を下ろしたイトーヨーカドー丸大長岡店(11日夜)

支局  
新潟 951-8061  
新潟市中央区西堀通六番町885の7  
長岡 940-0065  
長岡市坂之上町2の3の8 諸橋ビル

新潟

新潟支局 0255-222-17547  
長岡支局 02558-1371-110407